

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲については、現金、普通預金、未収金、仮払金、未払金、前受金、仮受金、預り金を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	前期末残高
現金	50,000	50,000
普通預金	28,767,947	26,688,270
未収金	0	0
仮払金	0	0
合 計	28,817,947	26,738,270
未払金	5,000	414,963
前受金	12,033,637	10,895,697
仮受金	1,739,700	1,529,400
預り金	206,958	202,099
合 計	13,985,295	13,042,159
次期繰越収支差額	14,832,652	13,696,111

3. 予算額と決算額の差異が著しい科目について

計算書に記載のとおり

(差異が100万円以上の科目は会計報告時に説明)

4. 科目間の流用及び予備費の使用について

(1) 科目間の流用

大科目をまたぐような科目間の流用はありません。

(2) 予備費の使用

予備費予算額500,000円の使用はありません。